

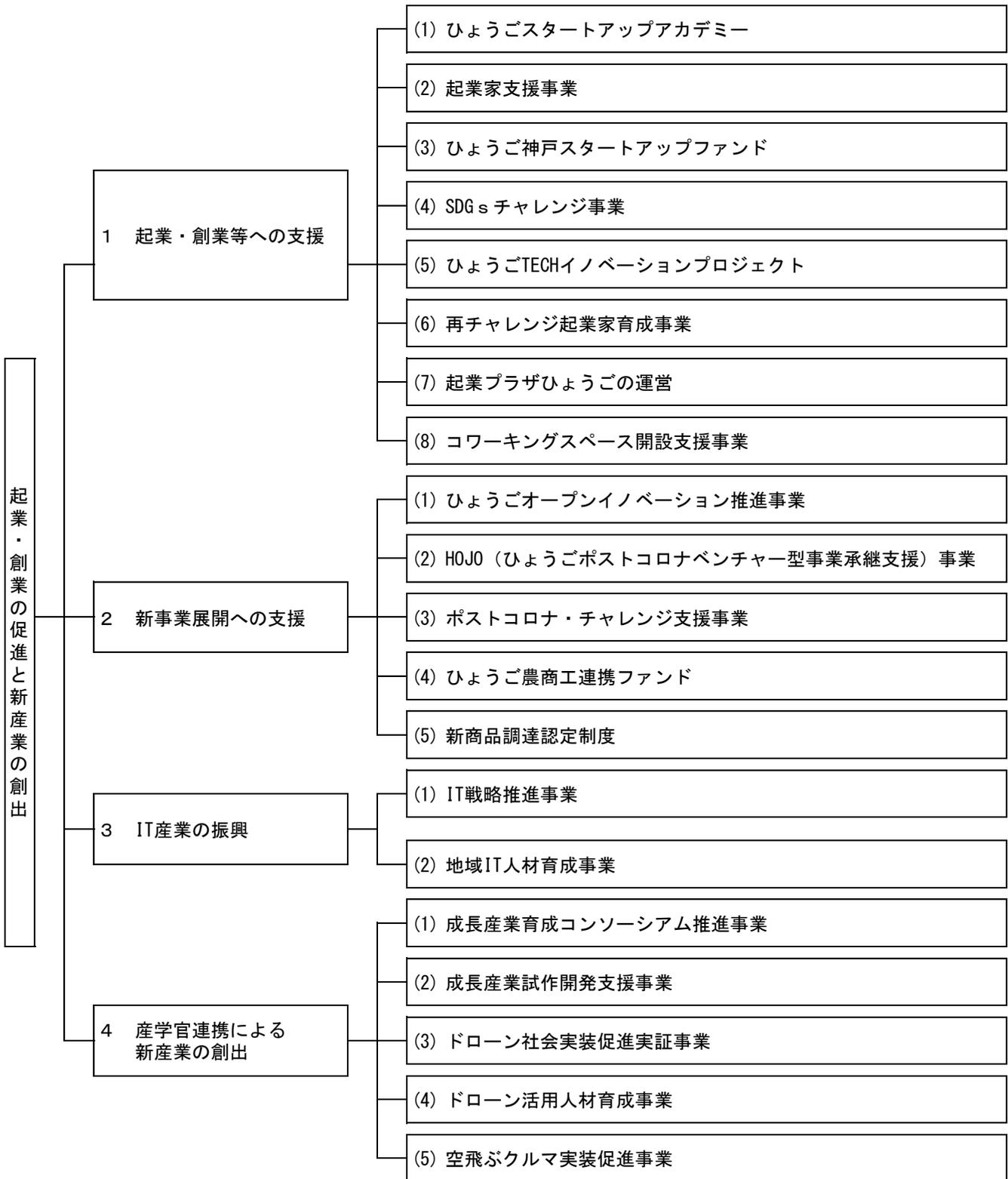
令和6年2月13日

起業・創業の促進と新産業の創出について

	ページ
令和5年度 新産業課 施策体系表	2
I 起業・創業の促進と新産業の創出	3
1 起業・創業等への支援	3
2 新事業展開への支援	14
3 IT産業の振興	18
4 産学官連携による新産業の創出	20

産業労働部新産業課

令和5年度 新産業課 施策体系表



1 起業・創業等への支援

令和2年7月に、京都・大阪とともに、「ひょうご神戸」が国の「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」の選定を受け、これまでの起業支援の取組を生かしながら、優れたスタートアップの集積を更に推進し、兵庫経済の活性化を促進。

◆開業率の推移◆

本県の令和4年度の開業率は、3.84%と全国平均(3.87%)を下回ったものの、廃業率については2.93%と全国平均(3.24%)と比較して低く抑えられている。

(参考：廃業率)	
兵庫県	2.93%
全国	3.24%
大阪府	3.11%

【開業率の推移(近畿2府4県)】

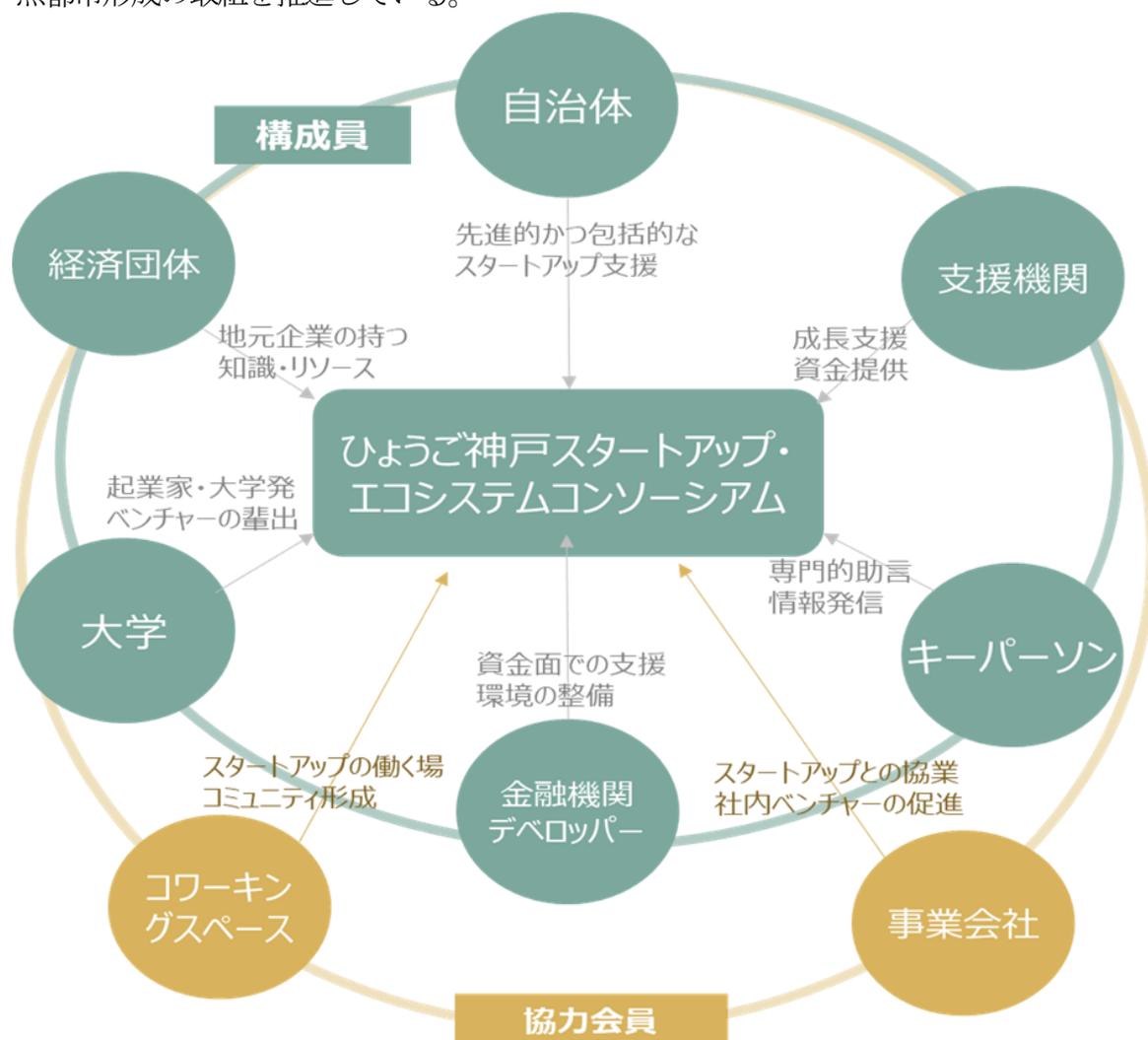
※()は近畿の順位

	R2年度	R3年度	R4年度
兵庫県	5.24%(2)	4.44%(2)	3.84%(3)
大阪府	5.41%(1)	4.76%(1)	4.16%(1)
京都府	5.17%(3)	4.42%(3)	3.74%(4)
奈良県	4.79%(4)	4.14%(4)	3.99%(2)
和歌山県	3.95%(6)	3.39%(6)	3.06%(6)
滋賀県	4.67%(5)	4.06%(5)	3.53%(5)
全国	5.11%	4.37%	3.87%

[出典：厚生労働省「雇用保険事業統計」を基に県新産業課作成]

【参考：ひょうご神戸スタートアップ・エコシステム推進の枠組】

行政・大学・経済団体等の関係機関が一体となってコンソーシアムを構成し、兵庫・神戸に起業家を生み育てる環境の整備をめざし、スタートアップ・エコシステムの構築・拠点都市形成の取組を推進している。



(1) ひょうごスタートアップアカデミー

(R5予算 39,110千円)

社会課題の解決に向け、起業も含め主体的に取り組む若者を育成するため、県内大学と連携した取組を拡充するとともに、県内各地の中高生を対象に、自ら課題を発見し、解決策を考える実践型教育プログラムを実施。

ア BizWorldプログラムのモデル導入

県内の中学校・高校（3校）に、各学校の事情に応じて BizWorld(※)のプログラムをモデル導入



BizWorld：シリコンバレーで生まれた、課題解決型のアントレプレナーシップ教育プログラム。小中高生が起業家精神、ビジネス及び金融の基本を実践を通じて学ぶことができる。

実施校：県大附属中学校・県大附属高校・県立伊丹高校



投資家へのピッチ（資金調達）



商品の作成



模擬通貨による販売

イ 高校生を対象とする4日間の「ビジネスプラン作成キャンプin KOBE」の実施

日本政策金融公庫が主催する「高校生ビジネスプラン・グランプリ」や、兵庫県と大阪府が共同開催する「スタートアップチャレンジ甲子園」に応募することを視野に、ビジネスプランの作成にチャレンジするイベントを開催

〔開催時期〕 令和5年7月26日、28日、8月3日、4日

〔開催場所〕 起業プラザひょうご（神戸）

〔参加者数〕 37名

ウ 県内大学と連携した起業人材育成

起業を計画している大学生や社会人等を対象に、イノベーションを自ら創出できる力を持った人材育成を目的に、県内大学と連携した起業人材育成講座を実施

※実施校：神戸大学、県立大学、甲南大学、武庫川女子大学

【起業人材育成講座 受講者数】

	R2	R3	R4	R5
神戸大（R2～）	19	22	20	15
兵庫県立大（R3～）	-	28	31	12
甲南大（R4～）	-	-	26	21
武庫川女子大（R4～）	-	-	18	23
計	19	50	95	71
起業数	3	8	14	-



神戸大学連続講座の様子
(@起業プラザひょうご)

エ 「スタートアップチャレンジ甲子園」の開催（兵庫・大阪連携事業）

2025年大阪・関西万博を見据え、「兵庫・大阪連携会議」を設置。その一環として、学生等の新ビジネスのアイデアを発掘する「スタートアップチャレンジ甲子園」を共同開催。

〔開催時期〕 令和5年11月12日（日）

〔開催場所〕 ちゃやまちプラザ（大阪）

〔対象者〕 ジュニア部門（中学生・高校生）／シニア部門（大学生～30歳未満）



(2) 起業家支援事業

(R5予算 239,962千円)

多様な人材が活躍しやすい環境を整備するため、新たなビジネス創出に意欲的に取り組む者による起業と成長を支援している。令和5年度は優先採択枠を設け、県内学生や留学生の起業に対しての支援を実施。

区分	一般事業枠	
対象者	県内で起業・第二創業する方	
支援内容	補助上限 1,000千円 (※補助率1/2 ※空き家を活用する場合、別途上限1,000千円加算)	
事業開始	令和4年度 (女性(平成25年度)、シニア(平成27年度)、若手(平成30年度)を統合)	
R4年度支援実績	58件・47,325千円 (申請件数 483件)	
R5年度支援予定	60件・53,467千円 (申請件数430件)	
支援事例 (R5年度)	<p>鶏と米diningライズ (川西市)</p> <p>厳選した県産米、特産品を使用した洋風焼鳥店を開店</p> 	<p>心春日和 (三田市)</p> <p>地域産の食材と地元丹波立杭焼の器でお料理を提供する飲食店</p> 

区分	ふるさと枠	社会的事業枠	東京23区枠
対象者	県外から県内へ移住し起業・第二創業・事務所移転する方	県内で社会的事業分野で起業する方	直近5年以上東京23区に在住又は通勤していた方で、県内に移住し社会的事業分野で起業する方
支援内容	補助上限 2,000千円	補助上限 1,000千円	
	(※補助率1/2 ※空き家を活用する場合、別途上限1,000千円加算)		
事業開始	平成27年度	令和元年度	令和元年度
R4年度支援実績	20件・17,942千円 (申請件数 61件)	25件・19,711千円 (申請件数 36件)	3件・2,466千円 (申請件数 5件)
R5年度支援予定	20件・23,851千円 (申請件数41件)	25件・23,554千円 (申請件数49件)	3件・2,966千円 (申請件数 3件)
支援事例 (R5年度)	<p>㈱LightHouse (神戸市北区)</p> <p>外国人観光客におすすめの「日本酒プリン」などご当地プリンの開発・販売</p> 	<p>cadode cafe (尼崎市)</p> <p>看護学の専門知識を生かしてコミュニティナースが運営する「地域の保健室」のようなカフェ</p> 	<p>あかしカイロプラクティック (明石市)</p> <p>子どもから高齢者まで支えるカイロプラクティック&発達支援施設</p> 

区 分	就職氷河期世代枠	物価高克服・ポストコロナ枠	再チャレンジ枠
対 象 者	県内で起業する就職氷河期に大学等を卒業した総所得金額が一定額以下の方	物価高克服・ポストコロナ下の地域経済再生・活性化に資する事業で起業する方 (R5: 県内学生・留学生優先採択枠創設)	コロナ禍等による起業に関する困難な経験を糧に起業に再チャレンジする方
支援内容	補助上限 1,000千円 (※補助率1/2 ※空き家を活用する場合、別途上限1,000千円加算)		
事業開始	令和2年度	令和3年度	令和4年度
R4年度支援実績	9件・7,703千円 (申請件数17件)	29件・25,729千円 (申請件数264件)	26件・24,626千円 (申請件数38件)
R5年度支援予定	13件・13,167千円 (申請件数17件)	30件・26,873千円 (申請件数131件)	16件・15,779千円 (申請件数27件)
支援事例 (R5年度)	<p>かなえるキッチン (神戸市東灘区) 発酵や天然酵母で免疫力向上。「自ら健康を作る」を広める教室</p> 	<p>おまめや (たつの市) 赤穂の塩、県産大豆などを活用した体に優しいサンドイッチを販売することで地元食材の魅力も発信</p> 	<p>Osteria Inome (神戸市中央区) 兵庫ジビエを使って今は無き北野イタリアンの味を提供する飲食店</p> 

〔参考1〕 支援件数内訳 (R5年度までの累計)

事業名	件数(件)
一般事業枠 (一般枠)	812
一般事業枠 (ふるさと枠)	216
社会的事業枠	93
東京23区枠	16
就職氷河期世代枠	44
ポストコロナ枠	84
再チャレンジ枠	42
高齢者コミュニティ・ビジネスイノベーション支援事業(～R2)	97
クリエイティブ起業創出事業(～R1)	20
ポストコロナ・スタートアップ支援事業(～R3)	17
計	1,441

※累計支援件数 1,441 件のうち、1 億円以上の売上のある事業者は 20 件

〔参考2〕 業種別支援件数 (R5採択分)

業種	件数 (件)	構成比 (%)
飲食・食料品製造	54	32.3
生活関連	18	10.8
卸・小売	18	10.8
教養・学習支援	16	9.6
学術研修・専門・技術サービス	12	7.2
不動産・物品賃貸	4	2.4
宿泊	4	2.4
ものづくり	1	0.6
情報サービス	1	0.6
運送	1	0.6
その他	38	22.7
合計	167	100.0

(3) ひょうご神戸スタートアップファンド

成長が期待されるスタートアップへの投資を行う「ひょうご神戸スタートアップファンド」により、ひょうご神戸から世界に羽ばたくスタートアップを資金面で支援。

〔ファンド概要〕

名称	ひょうご神戸スタートアップファンド 投資事業有限責任組合	 HYOGO KOBE STARTUP FUND
設立年月日	令和3年3月1日	
ファンド規模	総額10.85億円 〔出資組合員〕 ●無限責任組合員：BIG Impact(株) ●有限責任組合員： (公財)ひょうご産業活性化センター(県・神戸市より出資)、兵庫県信用保証協会、(株)三井住友銀行、(株)ゆうちょ銀行、(株)みなと銀行、(株)但馬銀行、(株)池田泉州銀行、シスメックス(株)、(株)神戸新聞社、(株)パソナグループ、(株)新井組	
投資対象	県内に本社または拠点を有する企業、または、今後県内に拠点を設ける予定のシード期・アーリー期を中心としたスタートアップ	
運用期間	10年間(延長3年可)	
投資方法	株式、転換社債型新株予約権付社債等の取得	
投資限度額	1社あたりファンド総額の20%以内(その範囲内で再投資可)	
投資実績	14社、計456,300千円(R6.1月末現在)	

〔投資先事例〕

<p>サグリ(株) (丹波市) 衛星データを用いた農地の可視化事業・土壌解析サービス事業を営む、衛星データ×AI×農業分野で高い専門性を有し、農業を革新する可能性を秘めたスタートアップ。</p>	
<p>(株)Liberaware (千葉県) 産業分野に特化した非GPS型小型ドローンやIoT技術・人工知能を活用したシステム開発し、小型ドローン「IBIS」を活用した点検・測量ソリューションサービスやレンタルサービスを展開。 ひょうごオープンイノベーション推進事業のピッチイベントに登壇。</p>	

〔参考：無限責任組合員(ファンド運営者)の概要〕

<p>・名称：BIG Impact(株) ・設立：令和4年6月 ・特徴： ファンドマネージャーとなる細野氏は日本のベンチャー投資家ランキング2021(経済誌・Forbes JAPAN)で5位にランクイン(2020年のキャピタルゲイン38.4億円(編集部推計))</p>	<p>・本社：東京都渋谷区 ・代表取締役：細野尚孝、日野太樹</p> 
--	--

(4) SDGsチャレンジ事業

(R5予算 30,000千円)

神戸市と連携し、グローバルなSDGs課題解決に積極的に取り組む起業家や新事業展開を行う中小企業を支援するを目指す共創プログラム「SDGs CHALLENGE」を実施。



【対象者】 グローバルな視野でSDGs課題解決に資する技術・サービスや製品を持つスタートアップ、中小企業等

【支援内容】

- ・SDGsビジネスに関する知見共有を目的としたセミナー
- ・経験豊富な専門家によるメンタリング
- ・国内外のネットワーク形成支援
- ・海外での実証実験・調査等のサポート

【事業開始】 令和3年度

【支援実績】 令和3年度：採択件数：19件（申請件数47件）

海外実証数：7件

令和4年度：採択件数：14件（申請件数63件）

海外実証数：9件

令和5年度：採択件数：17件（申請件数37件）

海外実証数（予定）：10件



デモデイを市民公開型で実施（R4）

【支援事例（令和5年度）】

at FOREST株式会社（神戸市）

寺院の森にて、自然との循環を促す「循環葬®」という新たな埋葬法を実現し、誰にでも訪れる死と森林保全をつなげ、後世に豊かな森を残すことを目指す。



株式会社ソーイング竹内（多可町）

食品残渣による染色、廃棄素材の再活用、有機綿・播州織によるキッチン用製品の製造に取組み、衣類廃棄やフードロス削減を目指す。



(5) ひょうごTECHイノベーションプロジェクト

(R5予算 20,000千円)

県内の社会課題・地域課題と革新的な技術を有するスタートアップ等をマッチングさせ、課題解決を図り、実証で得られた成果の横展開をめざすプロジェクト。

〔内容〕



① 課題の公募・選定

県内市町等から課題を公募し、適合性、新規性や共通性等を勘定し課題を選定

② 事業者等の公募・選定

選定した課題に対する解決法を提案する事業者を公募し、事業者を選定、実証実験に要する経費を補助(補助率1/2、最大50万円/件)

③ 実証実験の実施

採択事業者は、解決に向けた方法等を検討し関係者の協力を得て実証実験を実施

④ 実施結果の公表・周知

報告会の場を設け、他自治体等へ実施結果の公表・共有

〔令和5年度実証実験(9件)〕

実証事業者	課題(提案市町)
ソーシャルアクションカンパニー(株)	自治会活動の担い手確保(芦屋市)
フタリノ(株)	結婚を前向きに考える未婚者への支援(三田市)
CiPPo(株)	フードロスの削減(高砂市)
(NPO)ピープルデザイン研究所	障がい者と健常者が共に楽しめる場の提供(三木市)
テック鬼城(株)	積雪道路における路面標識等の長寿命化(朝来市)
バース・ビュー(株)	消防団活動の担い手確保(明石市/危機管理部)
リーフェア(株)	放置竹林への対策(淡路県民局)
メディアリンク(株)	特殊詐欺対策の推進(県警本部)
(株)タイミー	農業繁忙期における労働力確保(丹波篠山市)

(6) 再チャレンジ起業家育成事業

(R5予算 20,000千円)

再チャレンジ起業のロールモデルを提示・発信するとともに、県内に再チャレンジ応援コミュニティの形成を目指し、起業に関する困難な経験を活かして再チャレンジを目指す起業家を支援。



〔対象者〕

起業を経験している者、または現在困難に直面しており、再起業、新規事業立ち上げ、事業転換を目指している者

〔支援内容〕

自らの定めたミッション、ビジネスモデル、事業計画までを一貫して練り上げていく、事業実現のためのプログラムを実施

〔実施場所〕 起業プラザひょうご等

〔事業開始〕 令和4年度

〔支援実績〕 令和4年度：採択者数 10名(申請件数 20名)

令和5年度：採択者数 10名(申請件数 16名)

(7) 起業プラザひょうごの運営

(R5予算 74,558千円)

起業の場の提供と交流機能を備えた「起業プラザひょうご」(平成29年度より運営)を、令和2年9月に、三井住友銀行神戸本部ビル内に移転し、SMBCとの連携を強化。また、起業の機運を全県に広げるため、同年7月に姫路市・尼崎市に地元自治体と連携しエリア拠点を開設。



◆施設の概要・機能 (設置者 : (公財)ひょうご産業活性化センター)

区分	場所	特色	主な設備・ソフト支援機能
全県拠点	神戸 神戸市中央区	SMBC (hoops link kobe) と連携したスタートアップ支援	【設備】 ○コワーキングスペース : 起業家同士の交流の促進 ○ワーキングデスク・スモールオフィス : 低廉な価格の専有オフィス
エリア拠点	姫路 姫路市本町	スモールビジネスや女性・若者向け創業支援策の充実	○ミーティングルーム 【ソフト支援機能】 ○専門家相談機能 (士業、金融機関等) ○起業家コミュニティの活性化
	尼崎 尼崎市昭和通	尼崎創業支援オフィス (ABiZ) との一体運用による伴走型支援	○コーディネーターによる情報提供

ア 全県拠点

(7) 起業プラザひょうご (KiP : 神戸)

【開設時期】平成29年10月 (令和2年9月にSMBC神戸本部ビルに移転)

【運営委託先】NPO法人コミュニティリンク

【施設面積】1,050㎡

【会員数】173人 (R5.12月末現在)

スモールオフィス 15室入居/全18室 ワーキングデスク 7席入居/全7席

【入居者事例】

株式会社 Compass

LINE等を用いてオンラインでキャリア相談できるサービスを提供。2020年、経産省が選ぶ「J-Startup Kansai」に選出。2021年、マネックスベンチャーズ等から2億円の資金調達を完了。



【支援状況】

年度	相談対応件数	イベント開催数 (参加者数)
R4年度	92件	110(2,259名)
R5年度(12月末時点)	107件	82(1,537名)

【イベント開催事例】

The Pitch Day～3周年特別企画～

開催日：令和5年11月13日

主催：KiP、hoops link kobe

参加者：129名

内容：KiP・hoops link kobeが新たなネットワーク作りの拠点としてさらに進化することを目的としたビジネスマッチングイベント。



イ エリア拠点

(ア) 起業プラザひょうご姫路

〔開設時期〕 令和2年7月

〔運営委託先〕 NPO法人姫路コンベンションサポート

〔施設面積〕 280㎡

〔会員数〕 33人 (R5.12月末現在)

スモールオフィス 7室入居/全9室

ワーキングデスク 4席入居/全4席



〔入居者事例〕

MarriageSalonプリムラ (姫路市)

成婚までではなく「離婚をなくす」ことも考慮した、広い視野に立ったフォローを行う結婚相談所。一般的な結婚相談所と異なり、対面・オンラインの相談は何度でも利用可能。趣向を凝らした婚活パーティーの企画運営も手掛ける。



〔支援状況〕

年度	相談対応件数	イベント開催数 (参加者数)
R4年度	53件	42(327名)
R5年度 (12月末時点)	172件	32(356名)

(イ) 起業プラザひょうご尼崎

〔開設時期〕 令和2年7月

〔運営委託先〕 (公財)尼崎地域産業活性化機構

〔施設面積〕 240㎡

〔会員数〕 13人 (R5.12月末現在)

スモールオフィス 8室入居/全9室



【コワーキングスペース】

〔入居者事例〕

ヌサンタラ珈琲 (尼崎市)

インドネシア出身の女性が、現地農園から直輸入したコーヒー豆を焙煎し、販売事業を展開。今年度「尼みやげ」として、「尼の珈琲」が認証される。自社サイト販売運営の他、イベント(ツーリズムEXPOジャパン2023)などにも積極的に出店し、インドネシアと尼崎の架け橋となって活動している。



〔支援状況〕

年度	専門家による 相談対応件数	イベント開催数 (参加者数)
R4年度	201件	34(229名)
R5年度 (12月末時点)	101件	34(122名)

(8) コワーキングスペース開設支援事業

(R5予算 23,838千円)

地域における起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、起業家等を対象とした coworking space を新たに開設する事業者等を支援。

〔支援内容〕

対象経費	運営支援型（3年間）	整備支援型
建物改修費	1,000千円	5,000千円
空き家改修の場合	+1,000千円	+1,000千円
事務機器取得費	500千円	500千円
賃借料	600～900千円/年 地域により異なる	—
通信回線使用料	600千円/年	—
人件費 (高度IT人材)	1,000千円/人・年 ※高度IT事業者に限る	—
補助上限額	9,000千円（3年総額）	5,500千円
空き家改修の場合	10,000千円	6,500千円
補助率	1/2（県1/4、市町1/4） ※人件費は定額	1/2（県1/4、市町1/4）

〔採択実績〕

R5. 12月末現在

区分	運営支援型	整備支援型
R4年度	8件（新規0件、継続8件）	4件
R5年度	6件（新規1件、継続5件）	5件

〔支援事例〕

①運営支援型

Pivot川西(川西市) [補助期間：R3年11月～R6年11月] (R4年2月開設)

10年以上プログラマとして開発実績があり、IT人材の育成にも尽力してきた運営者が、川西市でIT技術等を生かした起業家の輩出を目指し開設。プログラミング技術が学べる勉強会の開催や、タウンマネージャーと連携した地域住民との交流イベント等を行う。



②整備支援型

うみぞら 海空(洲本市) [補助期間：R4年度] (R5年2月開設)

神映像制作のプロに相談しながら利用者自ら自社製品の映像編集・発信を行うことができる今までにない coworking space。空間の中にはカフェスペースも設け、クリエイターを目指す若者を含む多様な人材の活躍を後押ししている。



〔成果事例〕

コワーキングネットワーク会議

本県の補助により開設されたコワーキングスペースの運営事業者等を対象に、集客や利用者支援について意見交換するネットワーク会議を実施。

淡路会場：11月15日開催（参加者13名）

丹波会場：11月27日開催（参加者24名）



〔参考〕地域別支援件数内訳 (R5年度までの累計)

地域別	件数 (件)
神戸	11
阪神南	1
阪神北	6
東播磨	2
北播磨	6
中播磨	1
西播磨	1
但馬	3
丹波	7
淡路	6
合計	44

2 新事業展開への支援

中小企業等の新たな事業の創出や新たな商品開発等の事業活動を促進するため、定期的なイベントの開催や伴走支援、資金調達、販路開拓の支援、農商工連携等の兵庫の豊かな地域資源を活用した取組等を支援。

(1) ひょうごオープンイノベーション推進事業

(R5予算 10,800千円)

オープンイノベーションによる新規事業の創出を推進するため、中小企業等に対して、オープンイノベーションを知り・考え・出会う機会の提供を通じたコミュニティ形成を図るとともに、社会課題・地域課題の解決に向けた共創プロジェクトを支援



〔支援内容〕

① オープンイノベーションに関するイベントの開催

セミナーやワークショップを通じ、共創に必要なスキルを磨きながら、スタートアップ等と気軽に交流できるイベントを定期開催

- ・実施回数：12回程度
- ・実施場所：起業プラザひょうご 等

〈実施状況：第9回終了（R6.1月末現在）〉

- ・参加者数（累計）：301名
- ・参加企業・団体数（累計）：133企業・団体

② 協業検討に対する支援

2者以上の事業者による社会課題・地域課題の解決に向けた協業検討に要する必要な経費の一部を補助

- ・補助金額：上限300千円/件
- ・補助率：1/2
- ・件数：15件



イベントの様子

〔支援事例〕

【県内企業】

【スタートアップ】

株式会社新井組（西宮市） × verbal and dialogue株式会社（姫路市）

（株）新井組の建設現場でverbal and dialogue（株）が開発を進める工事写真帳自動作成アプリの実証実験を実施

(2) ひょうごポストコロナベンチャー型事業承継支援事業

(R5予算 30,000千円)

本業の変革や新市場への参入などに意欲のある、中小企業等の若手事業承継者を対象にアクセラレーションプログラムを実施し、新規事業の開発・実証を支援。



【対象者】

兵庫県内に本社を有する企業の若手事業承継者（概ね40歳未満）

【支援内容】

① アクセラレーションプログラム

新規事業アイデアの創発・具体化を支援するため、専門家や先輩経営者による伴走支援を実施

- ・採択者数：10名
- ・実施場所：起業プラザひょうご等

② プロトタイプ開発・実証の支援

アクセラレーションプログラムで具体化した事業プランに基づくプロトタイプの開発・実証に要する経費の一部を支援

- ・補助金額：上限1,500千円/社
- ・補助率：1/2



プログラムキックオフ (7/21)
知事と参加者の意見交換会を開催

【支援事例】

企業名 [所在地]	事業内容	新規事業の内容
オリバーソース(株) [神戸市]	ソース等食料品の製造・販売	調味料の体験型セレクトショップの開設
(株)日東社 [姫路市]	マッチ・ライター等の製造・販売	長軸、頭葉カラー、香料等によるマッチの新商品開発および新市場開拓
(有)ワシクリーニング [明石市]	クリーニング店の運営	窒素封入による洋服の長寿命化保管パックサービスの開発

(3) ポストコロナ・チャレンジ支援事業

(R5予算 31,000千円)

ポストコロナ社会において革新的な発想や技術に基づき社会課題解決に取り組むスタートアップを始めとする中小企業等の起業又は新ビジネス創出を支援。

【対象者】 スタートアップをはじめとする中小企業等

【支援内容】 起業または新ビジネス創出に要する経費及び研究開発に要する経費を補助

- ・補助金額：上限2,000千円（空き家活用の場合、別途1,000千円）
- ・補助率：1/2

【事業開始】 令和2年度

【支援実績】 令和4年度：採択件数 10件(申請件数42件)

令和5年度：採択件数 10件(申請件数36件)

【支援事例（令和5年度）】

(株) B-Lab (東灘区)

免疫力を高める効果をもつ食物繊維の一種であるβ-グルカンを、より効率的に吸収できるように水に溶けやすく加工し、化粧品や食品などに応用。

※甲南大学発ベンチャー

(4) ひょうご農商工連携ファンド

(公財)ひょうご産業活性化センターが設置している「ひょうご農商工連携ファンド」の基金運用益等を活用して、県内の中小企業者と農林漁業者の連携による新商品・新サービスの開発や販路開拓等を支援。

〔ファンド概要〕

設立時期	令和3年3月
資金規模	25.8億円 (内訳) 県 : 0.1億円 (公財)ひょうご産業活性化センター : 2.7億円 (独)中小企業基盤整備機構 : 20.0億円 県内金融機関 : 3.0億円
支援対象	中小企業者等と農林漁業者の連携体による研究開発、販路開拓
運用期間	10年間
支援方法	運用益等による補助金の交付
支援内容	補助上限4,000千円 (※補助率2/3 ※補助対象期間: 2年以内)
支援実績	[R4年度新規採択] 3件 (助成予定金額: 10,191千円 [R4・5]) [R5年度新規採択] 5件 (助成予定金額: 12,180千円 [R5])

〔支援事例〕

平岡農園(洲本市) × 壺坂酒造(姫路市) [補助期間: R3・4年度]

平岡農園のレモンを使ったレモンチェロ (リキュール) の開発

レモンのすがすがしい風味と甘めの飲み口が特徴のイタリアの伝統的なレモンリキュール。現在の国内流通はほとんどが外国産であり、珍しい国内産商品の開発を目指す。



プラスワンケアサポート(川西市) × 加東セントラルファーム(加東市) [補助期間: R3・4年度]

加東市産の減農薬米を使った、ケミカル剤不使用の介護用ソフト食の開発

高齢化に伴い需要増加が見込まれる介護食において、ケミカル剤 (増粘剤食品添加物) 不使用の介護用ソフト食 (食材をペースト状にして再成形した嚥下食) の開発を目指す。



(5) 新商品調達認定制度

新たな事業分野を開拓する中小企業者を支援するため、平成18年度に「ひょうご新商品調達認定制度」を創設。県内の中小企業者による独創性豊かな新商品・新役務を県が「ひょうご新商品」として認定することで、当該企業の信用力を高め、販路開拓を支援。認定された「ひょうご新商品」は県の随意契約の対象として3年間登録。

〔認定実績〕

	H18～26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	合計
	第1～10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	—
認定 商品	91社 100商品	8社 8商品	10社 10商品	6社 6商品	5社 5商品	8社 8商品	8社 8商品	6社 6商品	4社 7商品	146社 158商品

※R5年度の募集は終了(令和5年11月1日～12月15日)

〔認定商品事例〕

保育園向け映像・AI活用午睡見守りモニタ「すやすやうおっち」

【(株) シンクチューブ (神戸市)】(第15回認定品)

午睡中の子どものカメラ映像をAI映像解析技術で処理する見守りモニタ。乳幼児一人一人に装着するものがなく、最大8人の胸部体動・呼吸を可視化、うつぶせ寝を注意喚起する



ストラップ型リアルタイム表面温度表示シグナル「リアサモ」

【(株) ベルアート (神戸市)】(第17回認定品)

リアルタイムな体表温度を3段階で確認できる温度計。第三者が相手の体調を確認できる設計になっており、感染症対策や熱中症対策の助けとなる。



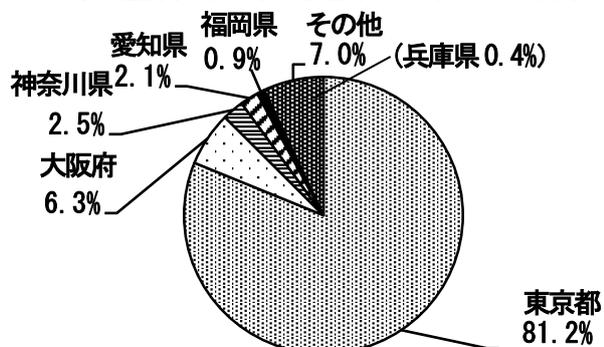
3 IT産業の振興

◆情報関連産業の状況（2021年調査）◆

情報通信業は、全国の年間売上高の約7割が東京都に集中し、本県の全国シェアは0.4%（全国8位）となっている。

また、本県の情報関連の本社企業数は67社、従業員数は10,780人となっている。

【情報通信業売上高の都道府県別構成（R2年度）】



【情報関連企業数（本社）・従業員数（R2年度）】

	全国	兵庫県	構成比
本社企業数	4,894	67	1.4%
従業員数	1,293,764	10,780	0.8%

〔出典：経済産業省「2020情報通信業基本調査」〕

〔出典：経済産業省「2020 情報通信業基本調査」〕

(1) 社会課題解決型IT事業所開設支援事業

(R5予算 39,503千円)

県内の情報関連産業の振興や地域の活性化を図るため、IT関連の事業所を開設する事業者を支援。

〔支援内容〕

対象経費	補助期間	社会課題解決型 IT 事業所開設	
		社会課題解決型 IT 事業所開設	うち県
建物改修費	開設時	1,000 千円	500 千円
空き家改修の場合		+1,000 千円	+500 千円
事務機器取得費		500 千円	250 千円
賃借料	3年間	600~900 千円/年	300~450 千円/年
通信回線使用料		※地域により異なる	
人件費(高度IT人材)		600 千円/年	300 千円/年
補助上限額(3年間)		2,000 千円/人年	1,000 千円/人年
補助上限額(3年間)		12,000 千円	6,000 千円
空き家改修の場合		13,000 千円	6,500 千円
対象地域		全県	
補助率		1/2 (県 1/4、市町 1/4) ※人件費は定額 (県:市町=1:1)	

※1 IT事業所：高度IT技術を有し、今後成長が見込まれる起業家等

〔支援実績〕

(R6.1月末現在)

区分	IT事業所開設
R3年度	45件 (新規11件、継続34件)
R4年度	36件 (新規7件、継続29件)
R5年度	33件 (新規4件、継続29件)

〔支援事例〕

① IT事業所開設

〔株〕アドリブワークス(神戸市中央区)〔補助期間：R3年度～R6年度〕

誰もが気軽に起業するため、仲間や資金、知見などを簡単に集められ、ビジネスアイデアを具現化できるプラットフォーム「triven」の運営及び、コンサルティング等の支援事業。



〔株〕テラアクソン(神戸市中央区)〔補助期間：R4年度～R7年度〕

金融機関と連携した特殊詐欺監視人工知能サービスの開発・販売およびベンチャー企業に対する人工知能技術等の高度IT技術の支援事業。



(2) 地域IT人材育成事業

(R5予算 30,445千円)

県内に事業所を有するIT事業者等が、地域の多様な主体と連携し、ITを活用できる人材を育成しつつ、地域課題の解決を目指す実証事業を実施。

〔事業主体〕 県内に活動拠点を有するIT関連企業等

〔対象事業〕 IT技術等で地域課題を解決するモデルプロジェクトを通じた地域のIT人材育成事業

〔支援内容〕 1件あたり2,000千円(上限)補助

〔採択者数〕 10件

〔支援事例(令和5年度)〕

特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート(姫路市)

既存のボランティアガイド団体と協力して、姫路城に登城しなくても姫路の歴史を楽しめる中心市街地を回遊するコースを造成する。この造成に当たってはIT活用が出来る観光ガイドを育成する。IT技術を活用してガイドアプリを作成し、ガイド不足の解消と研修にも貢献する。



姫路城下町観光ガイドアプリイメージ

株式会社農社(洲本市)

スマート農業経営者を養成し、同時に過疎化や空き家といった地域課題を解決する「スマートビレッジ・プロジェクト」における研修・実習を通して、地域内の農業IT人材を育成し、地域農業関連サービスのDX化推進を実証する。



農社スマートビレッジ拠点

4 産学官連携による新産業の創出

本県発の産業シーズを創出し、最先端の研究開発を促進するため、産学官連携コーディネート機能及びネットワーク機能の強化を支援。

(1) 成長産業育成コンソーシアム推進事業 (R5予算 16,929千円)

成長産業分野におけるイノベーション創出を促進するため、県内企業や大学、研究機関等で構成するコンソーシアムを設置し、マッチングや競争的資金の獲得支援、企業の個別課題への指導・助言等を通じてプロジェクトの具体化を推進。

〔事業主体〕 (公財)新産業創造研究機構

〔対象分野〕 「ロボット・AI・IoT」、「航空・宇宙」、「環境・水素等新エネルギー」、「健康・医療」

〔加入企業〕 204社 (R6.1月現在)

〔事業内容〕 ①成長産業育成推進員の設置 (2名)
②プロジェクト企画会議の開催 (随時)
③ネットワーキング交流会の開催 (分野別に年1~2回)
④企業コンサルティングの実施 (通年)
⑤全体成果発表会の開催 (3月頃予定)

(2) 成長産業試作開発支援事業 (R5予算 30,000千円)

成長産業分野への県内中小企業の参入を促進し、集積を促進するため「成長産業育成コンソーシアム」の枠組みを活用し、新製品の社会実装を目指す県内中小企業を対象に、実用化・製品化に不可欠な試作開発を支援。

〔対象分野〕 航空・宇宙、環境・水素等新エネルギー(蓄電池含む)、健康・医療
※分野共通の製品(半導体等)も対象

〔補助額〕 上限3,000千円

〔補助率〕 1/2

〔事業開始〕 令和4年度

〔R5年度採択件数〕 12件

〔採択事例 (令和5年度)〕

(株)ネリキ(尼崎市)

高圧水素ガスの利用増加に伴い、小型、軽量、減圧弁内蔵、低圧出口圧を特徴とした水素容器用バルブを試作開発。

(3) ドローン社会実装促進実証事業

(R5予算 56,707千円)

(公財)新産業創造研究機構と連携し、官民間問わず様々な分野でドローンを先行的に活用し、その効果を県内企業等に示すことで、次世代産業の創出と、県民の更なる安全安心な暮らしや、行政サービスの向上・業務の効率化につなげる。

ア 多様な分野でのドローン利活用

(R6.1月末現在)

分野	テーマ【括弧内は分野】
鉄 道	災害初動対応等でのドローン線路直上巡回飛行の実用性検証
建物点検	音波照射加振を用いた非接触音響探査法による構造物劣化診断
橋梁点検	非GPS環境における自律飛行ドローンによる橋梁下点検
船 舶	稼働中外航船埠頭のドローンを用いた船埠頭点検実証試験
建 設	建設業の資機材運搬における課題解決検討～登山道整備の事例～
医薬品物流	河川上（橋梁下）を飛行ルートとしたドローンによる医薬品配送
重量物流	山間部における重量運搬ドローンの自動航行技術を用いた一括輸送並びに自動搬送ロボットと連携した配送無人化を狙う実証試験
農 業	ドローンを活用した大豆の生育監視
安 全	安全装置と保険を通じたドローン社会実装促進
気 象	風況アラートによるドローン飛行判断の自動化に向けた実証

イ 県民、事業者の意識醸成のための普及啓発

時期	ブース出展イベント	ブース訪問者	実施内容
4/13～15	ATC OSAKA MIRAI EXPO (大阪南港ATC)	—	ブース出展・成果パネル展示
6/26～28	第8回ジャパンドローン2023 (幕張メッセ)	約700名 (事業者等)	ブース出展・成果パネル展示
7/26～28	第9回国際ドローン展2023 (東京ビッグサイト)	約700名 (事業者等)	ブース出展・成果パネル展示
9/7、8	国際フロンティア産業メッセ 2023 (神戸国際展示場)	メッセ来場者 約13,000名	ブース出展・成果パネル展示
9/7、8	第2回ドローンサミット (出島メッセ長崎)	メッセ来場者 約3,850名	ブース出展・成果パネル展示 事例紹介・トークセッション
10/21、22	但馬ドーム開館25周年記念フェ スタ (但馬ドーム)	約100名 (一般の方)	ブース出展・ドローン体験 会・成果パネル展示
11/8	第2回ロボット・ドローンWG (福 島ロボットテストフィールド)	WG参加者 70名	事例紹介

(4) ドローン活用人材育成事業

(R5予算 15,000千円)

ドローンの導入により業務の効率化、生産性の向上をめざす県内事業者に対し、県内のドローンスクール協力の下、ドローンの操縦技術習得に向けた座学講習と実フィールドでの実習をあわせた研修を実施。

【事業主体】(公財) 新産業創造研究機構

【実施方法】 県6か所のドローンスクールで講習会を実施

※神戸市2箇所、姫路市、加西市、養父市、佐用町

【受講予定者】 県内企業の従業員等 43名

■ ドローンの飛行制度の概要

改正航空法が令和4年12月5日に施行されたことに伴い、有人地帯での補助者なし目視外(レベル4)飛行が解禁



※国土交通省は、令和5年12月に新たに「レベル3.5飛行」の制度を新設。

「レベル3.5飛行」とは、デジタル技術の活用(機上のカメラによる歩行者等の有無の確認)により、補助者や看板の配置といった現在の立入管理措置を撤廃し、道路や鉄道等の横断を伴う飛行を容易とするもの(但し、無人航空機の操縦ライセンスの保有および保険への加入が条件)。

(5) 空飛ぶクルマ実装促進事業

(R5予算 39,393千円)

2025年大阪・関西万博を契機に空飛ぶクルマの社会実装の実現、県内空飛ぶクルマ産業のエコシステムの形成を目指し、県内で、空飛ぶクルマのビジネス化を目指す事業者を支援。

〔支援内容〕

区分	兵庫県・大阪府枠	兵庫県枠
対象者	大阪府補助事業の対象事業者※ ※実証事業範囲に本県域を含む場合	本県域で実証事業を行う事業者
対象事業	○社会受容性向上（実機デモフライト、情報発信・PR事業、VR体験等） ○ビジネスモデル検証（飛行ルート開発、離着陸場・航空管制整備、安全性確認等）	
補助額等	○補助率 1/2 ○補助上限 10,000千円 ※大阪府補助と合わせて20,000千円 (総事業費：最大40,000千円)	○補助率 1/2 ○補助上限 10,000千円 ※実証事業範囲に神戸市を含む場合 神戸市が5,000千円上乗せ

〔支援事例〕

事業者	事業名	申請枠
丸紅(株)	空飛ぶクルマの運航実現に向けた事業性評価・検証	兵庫県・大阪府枠
住友商事(株)	空飛ぶクルマ試験飛行のリアルタイム監視及び、出前授業・試験飛行見学会の開催	兵庫県・大阪府枠
三井物産(株)	エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム事業	兵庫県・大阪府枠
エアスペース・テクノロジー・ジャパン(株)	兵庫・大阪での空飛ぶクルマの航空医療分野の活用検討	兵庫県・大阪府枠
(株)AirX	大阪湾ベイエリアにおける空飛ぶクルマの実機を活用した実証事業	兵庫県枠
兼松(株)	神戸市内ウォーターフロントにおける離着陸場設置検討調査	兵庫県枠

〔社会実装に向けた取組み・ロードマップ〕

